

# 福島と私たちをつなぐ ひまわりプロジェクト

## 復興へ向けてひまわりを育てませんか

被災地に代わって花を育て、障がいがある人の仕事の支えに

「ひまわりプロジェクト」では、みなさんが育てたひまわりの種を使い、福島県のNPO法人シャロームで障がいのある人たちが加工品をつくっています。地域の復興支援に役立つ活動です。東日本大震災前、シャロームは福島県内でひまわりを育てていましたが、福島第一原発事故により不可能に。生活クラブでは2014年度から一部の地域の組合員が栽培に参加、2022年から全体化しました。ひまわりを育て、福島の復興を支えませんか。

※今回のプロジェクト費用は、災害復興支援カンパ基金から拠出します

### ひまわりプロジェクトの参加方法

申し込み締め切り

3/19火

ひまわりプロジェクト専用のWEBフォームから必要事項を記入して参加申し込みをしてください。1口6粒入り。1回の申し込みで3口まで可能です。

申し込みは  
こちらから

生活クラブ ひまわり 検索

参加者  
募集!



※応募多数の場合は、抽選となることがあります ※福祉クラブ、エスコープ大阪では実施しません

### ひまわりプロジェクト参加の流れ

#### 1 WEBフォームから 申し込み※

WEBフォームに必要事項を記入して、「ひまわりプロジェクト」に参加しましょう。

※WEBフォームを使用できない方は最寄りの配送センター、またはデポへお問い合わせください

#### 2 4月下旬までに種と 育て方ガイドが届く

配達便でお届け、またはデポ店頭でお渡しします。一部地域では郵送でお届けすることもあります。

※「ひまわりプロジェクト」のひまわりの種は、Non-GMで搾油に適した専用の種です ※国内種が入手困難のため、アメリカ産となります

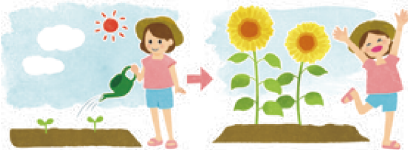


#### 3 ひまわりを育てる

生活クラブから届いたひまわりの種を植えて、大きくなるように育てましょう!

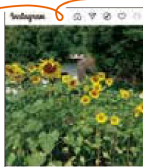
種まきの季節は4～6月ごろ。

7～8月ごろに花が咲きます。※



※時期は地域によって差があります

成長の様子を  
インスタに投稿してね!



Instagramに共通ハッシュタグ「#生活クラブ ひまわりプロジェクト」を付けて、成長の記録を投稿してください!

#### 4 種を収穫し、各自で発送

収穫した「ひまわりプロジェクト」のひまわりの種を、専用封筒に入れて各自でシャロームに発送。

※送料は自己負担になります

※発送する種は、ほかのひまわりの種と混ざらないようにしてください



みなさんの種が  
ひまわり油やせんべいに!

シャロームに送られた種は、福島県の製油所で搾油します。約1kgの種から1本分のひまわり油ができます。作業所で商品のラベリングや梱包作業をして完成! ひまわり油を使ったせんべいもつくっています。

## 誰もがともに支えあう社会をめざして



NPO法人  
シャローム代表  
大竹 静子さん

被災地の復興は多くのみなさんの支援により支えられてきました。そこには、物資だけではなく心の支援がありました。現場に寄り添い現状をそのまま伝えていただく支援は、被災者へのかけがえのない励ましとなります。「ひまわりプロジェクト」は震災直後から始まり、今もひまわりの種は福島の現状を伝え、心の交流を紡いでいます。

災害時には目の前の困難と同時に、人の優しさに触

れることができます。人は一人では生きていけない。助けあい、支えあわなければ生き残れないという現実に向面します。災害の教訓を思い返し、あらためてそれを心に刻むとき、人がともに生きる「共生社会」が見えてきます。それはひまわりの一粒の命に優しく向きあえる心を共有することから始まります。「ひまわりプロジェクト」を育て、みなさんとともに「共生社会」をめざしていきたいと願っています。

#### NPO法人シャローム

福島県を拠点に、障がいを持つ人、持たない人がともに生きるまちづくりをめざし、「ひまわりプロジェクト」をはじめ福祉支援や交流会などさまざまな活動を行なっています。

シャロームと「ひまわりプロジェクト」について動画でも紹介しています▶

